

LandmarkProject

バブル崩壊以降、日本の都市はその進むべき方向にとまどいを感じているといつても過言ではありません。何を残し、何をするべきか、また何を新たにつくるべきか？横浜市は関内地区を中心にした都心部再生プログラムを強く推進してきました。元銀行等の歴史的建造物、港岸の倉庫や産業遺構を文化芸術に再活用することで、いきいきとした街をつくり出そうとしています。こうした背景を受けて、このプロジェクトは、都市的なリーディングと実践力のあるアーティストや建築家を招き、建築レベルの作品制作を通して、市民とともに街の進むべき方向を考え、協働していくこうとするものです。自身の建物がランドマーク的な存在であることや、市の協力のもと、通常では使用が困難な場所や建物を使用していくことで、本格的な都市的なスケールのプロジェクトとして展開していきます。文化芸術領域の発信にとどまらず、都市に住む人の共有の課題である街づくりをともに考えていくきっかけになればと思います。BankART Lifeとは連動していますが、新規プロジェクトも加えて、Life展終了後も継続していくプロジェクトです。



旧日本郵船倉庫3Fcブロック

牛島達治

記憶—原動一場

海辺の倉庫、それも近代遺構としての建造物。その内部空間に立ち、風景として眺望する。しばらくその場にたたずんでみる。30m×12m×H4.7mの空間いっぱいに展開する空間装置。ロープが、綫取りの棒にジグザグに床の上をはい、垂直に立ち上がり、富士山形の輪郭を描きループを閉じる。ロープのテンションは、倉庫内の埃とゴミを集めたパケツ。ロープの速度は、船の速度の単位1ノット=1.852km/hを想定。

牛島達治 | うじま たつじ

1958年東京都生まれ。1984年A.C.C助成によりニューヨーク滞在。主な個展として『ケハイ』の構造(ヒルサイドギャラリー/1992)、「公用な機械たち」から『シジフォスの夢へ』(日隈区美術館/1993)、「景色—もうひとつつの視点」(プラスマイナスギャラリー/1995)「水にまつわる埋もれた記憶から」(ZOOM/1998)ほか多数。



横浜 寿町

岡部友彦+funnybee Co.,Ltd.

Yokohama Hostel Village

どや街で知られる横浜寿町。日雇い労働者のために作られた“ドヤ”に、新たに共有性を付け加えることで、旅行者のための“ヤド”へと転換を図るのが、YOKOHAMA HOSTEL VILLAGE。町の再生に視点を定めたこのプロジェクトは、建物だけでなく、町全体を再生していくとしている。

岡部友彦+funnybee Co.,Ltd. | おかげともひこ+ふぁにーぴー

岡部友彦：1977年神奈川県生まれ。2004年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。同年、岡部友彦建築設計事務所主宰、FUNNYBEE(株)取締役。10+1webにて「pics」project主催。地球博にてアニメーション「PopulouSCAPE」を共同出展。

Funnybee株式会社：2004年10月設立。スタッフ数6名。事業内容は、広告業および販売促進に関する企画の提案や、広告誌、情報誌などの企画制作、ウェブサイトの企画・制作・運営。



旧帝蚕倉庫 (北仲WHITE)

mirrormirror+sullen | 福井裕司

radcnndrebad

北仲WHITEビル内のコア部分に垂直に配置された倉庫群3室を利用したパブリックサービスプロジェクト。各室は約5mの極小空間に対してコンパクトな今日的ガジェットを用いてビル内にサービスを提供する。冷蔵ショーケース、スマーケマシン、MP3DJコンソール、スピーカー、エスプレッソマシン、ぬいぐるみ、マッサージチェアなどが配置されたBuilt-in tower。

mirrormirror+sullen | みならうさん

mirrormirror:福井裕司のプロジェクトユニット。1967年宮城県仙台市生まれ。東京芸術大学美術学部建築科卒、AAスクールディプロマ取得、ロンドン大学パートレット校大学院修了。現在、東京芸術大学美術学部建築科助手。「灰塚アースワークプロジェクト」(灰塚)にて、小さな美術館「回転窓」(1999)、「digahole」(2000)、「知和大樹美術デザイン」(2002)、「spinning bench」(2003)などを制作。Sullen: 2005年、黄川田勇太+孫田暁央+中井川大介によって結成されたユニット。「FRUITSPORTS」SPUTNIK(湘南/2005)、ファッション、デザイン、建築、アート、音楽など、多岐に渡って活動中。

旧第一銀行 (BankART1929 Yokohama)

Off Nibroll

今年6月に1929ホールの内部でインсталレーションとダンスパフォーマンスをおこなったoff nibrollが、今度はバージョンアップして内部からリアプロジェクトをおこなう。夕暮れとともに、銀行建築の大きな窓からは数多くの鳥の羽ばたく姿を見ることができるだろう。

Off Nibroll | おふ・にぶろーる

1997年設立のパフォーミングカンパニー「ニブロール」の全作品の権利を手がける矢内原美邦と映像ディレクターの高橋啓祐によるユニット。2004年5月、BankART 1929 Yokohamaにて、初のユニット作品「public-un+public」を上演。



BankART Studio NYK 運河沿

アトリエ・ワン

灯台バー

運河に面したBankART Studio NYKの為の移動式バー。奥深いアプローチの道しるべであり、冬でも水辺で酔うための小屋。東横線廃線跡高架上高島町ホームにはこのバーを仮設する予定。

アトリエ・ワン | あとりえ・わん

1992年、塙本由暉と貝島桃代によりアトリエ・ワン設立 BankART 1929で行われた「食と現代美術展」にこたつパビリオン等を出品。

塙本由暉：1965年、神奈川県生まれ。1987年、東京工業大学工学部建築学科卒。1987-88年、パリ建築大学ベルビル校(UP.8)。

1994年、東京工業大学大学院博士課程修了、工学博士。現在同大学大学院助教授。

貝島桃代：1969年、東京都生まれ。91年、日本女子大学住居学科卒。1994年、東京工業大学大学院修士課程修了。1996-97年、スイス連邦工科大学選学生。2000年、東京工業大学大学院博士課程修了、工学修士。現在筑波大学専任講師。

